

# 研究開発型スタートアップ支援事業

## 令和3年度予算額 21.4億円 (27.5億円)

### 事業の内容

#### 事業目的・概要

- Society5.0の実現に向け、イノベーションの担い手であるスタートアップ企業は重要な存在です。特に、研究開発型スタートアップは、スピード感を持った果敢な研究開発により技術的優位な立場を構築できるため、技術イノベーションの担い手として期待される存在で、その創出や成長のための環境整備が重要です。
- しかしながら、研究開発に要する期間の長さ、資金調達の難しさ、成功ノウハウ蓄積の少なさなど、研究開発型スタートアップを取り巻く環境は依然として厳しく、自律的・連続的に創出・成長が繰り返される「エコシステム」の構築には未だ至っていません。
- このため、本事業では、将来的にJ-startup(※)対象企業に選出されるような、急成長の可能性を秘めた研究開発型スタートアップに対し、その事業段階に応じた支援を関係者のコミットを得ながら実用化開発等に係る費用等を支援すること (STS/PCA)や、民間有識者の知見も活用しつつ、政策課題から研究開発テーマを設定し、研究開発計画の実現可能性調査から支援すること (SBIR)で、成功モデルの創出と関係者の定着を通じたエコシステムの構築を目指します。

#### 成果目標

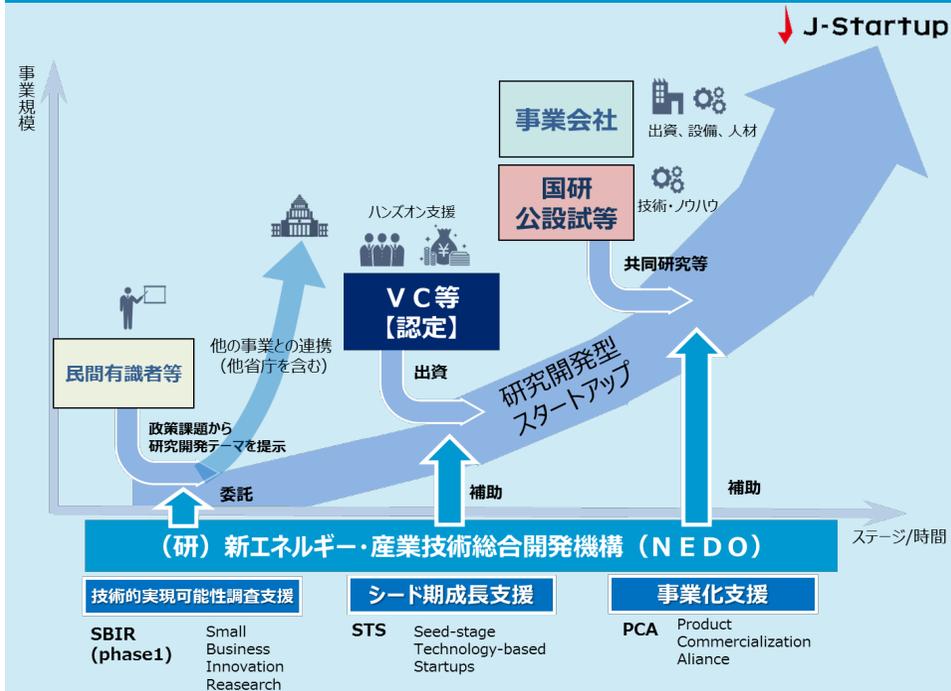
- ①事業年度毎の支援終了1年以内に次のステージの資金調達に成功する割合が5割
- ②NEDOが本事業を開始する前と比較して、認定VCの研究開発型スタートアップに対する投資額が2倍

※「J-Startup」とは、グローバルで活躍できるスタートアップ企業を官民により集中支援する取り組みです。

#### 条件 (対象者、対象行為、補助率等)



### 事業イメージ



#### <SBIR>

- 民間有識者等の知見も活用しつつ、政策課題から研究開発型スタートアップに適した研究開発テーマを設定し、研究開発計画の実現可能性調査から支援する。
- 本事業において研究開発計画の実現可能性調査を支援した事業者が、研究開発や事業化を行うに際しては、本事業のみならず、各省庁が行う関連事業と連携するなど、関係する府省庁間において横断的・一体的な支援を行う。

#### <STS/PCA>

- NEDOが認定したVCからの出資を受けた研究開発型スタートアップ (STS) や事業会社や研究機関と共同研究等を行う研究開発型スタートアップ (PCA) に対し、事業フェーズに応じた以下の支援を実施する。

- 実用化開発費、共同研究費等の補助
- 社会実装 (量産化) 段階に至る実証研究開発の補助 等